

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	脳転移・癌性髄膜炎を合併した胃癌に対する治療
研究責任者 (所属科名)	檜原 淳 (外科)
本研究の目的・意義	胃癌による脳転移・癌性髄膜炎はまれであり非常に予後は悪いとされます。また多臓器への転移が指摘されることが多く、診断に苦慮し、有効な治療法が導入出来ないことが多いです。しかし近年の報告では長期生存した症例も報告されています。この研究の目的は胃癌脳転移/癌性髄膜炎に対する予後規定因子を検討することです。
調査方法・調査期間	2005年1月～2016年12月までの情報を調査対象とします。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2005年1月～2016年12月までに安佐市民病院外科にて加療を行った胃癌を原発とする脳転移/癌性髄膜炎症例を検討の対象としました。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 部長 加納幹浩
備考	